



神奈川県

<https://www.pref.kanagawa.jp/>

# 境川遊水地におけるビオトープの 自然環境保全に関する取り組み

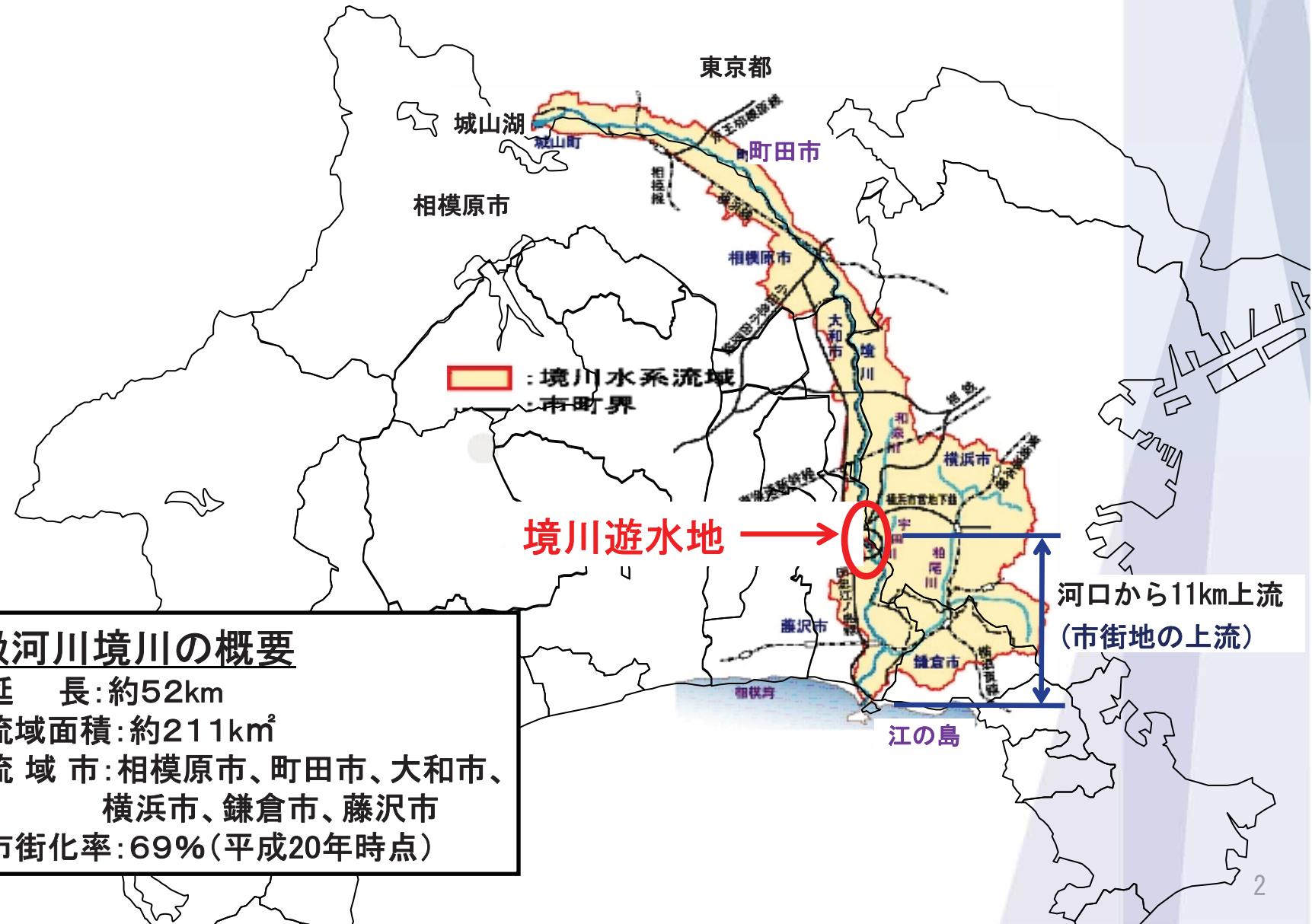


Kanagawa Prefectural Government

## ■ 目 次

- 1 境川遊水地の概要
- 2 境川遊水地公園の概要
- 3 ビオトープに生息する動植物
- 4 自然環境の保全に関する取り組み
- 5 今後の課題

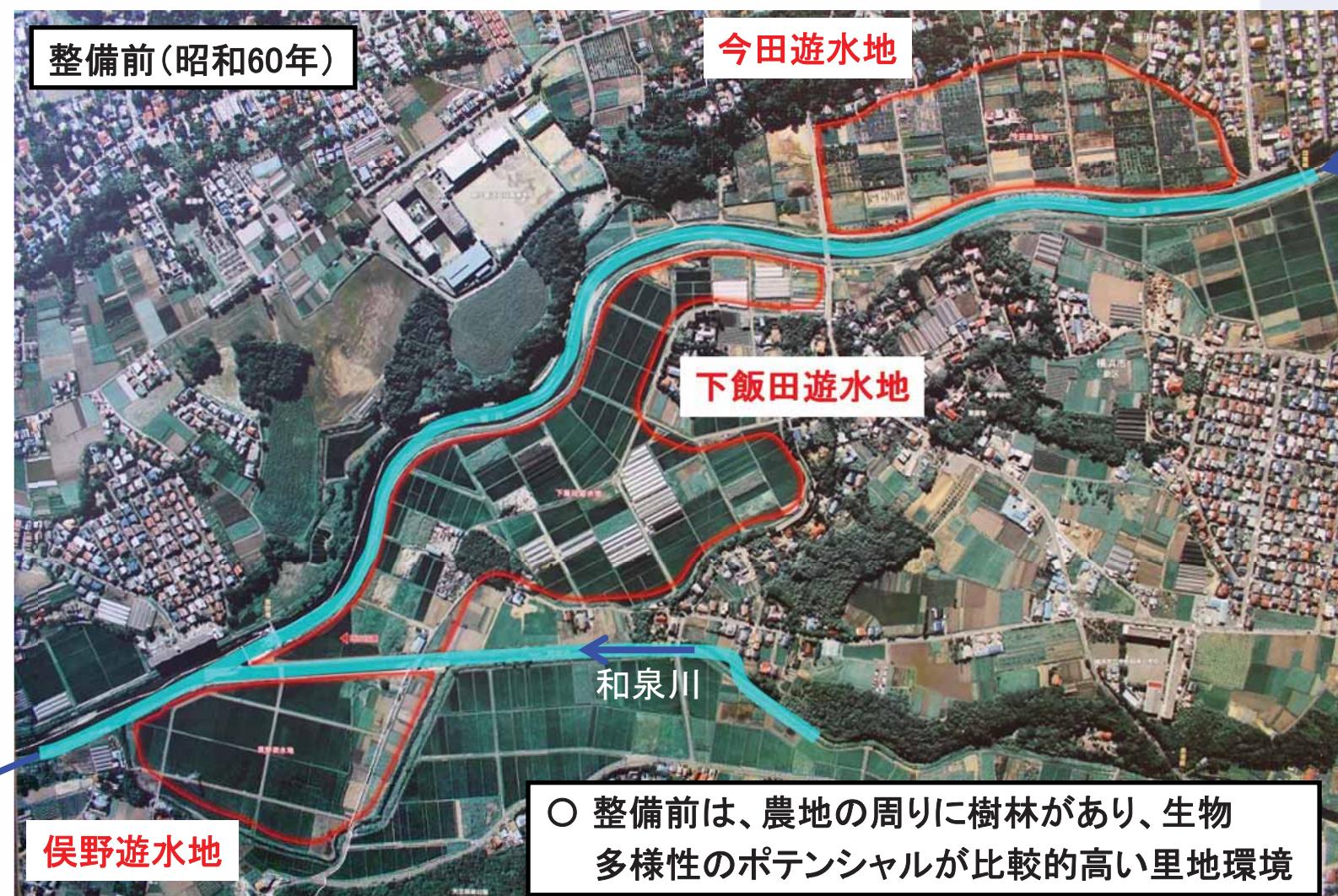
# 1. 境川遊水地の概要



# 1. 境川遊水地の概要



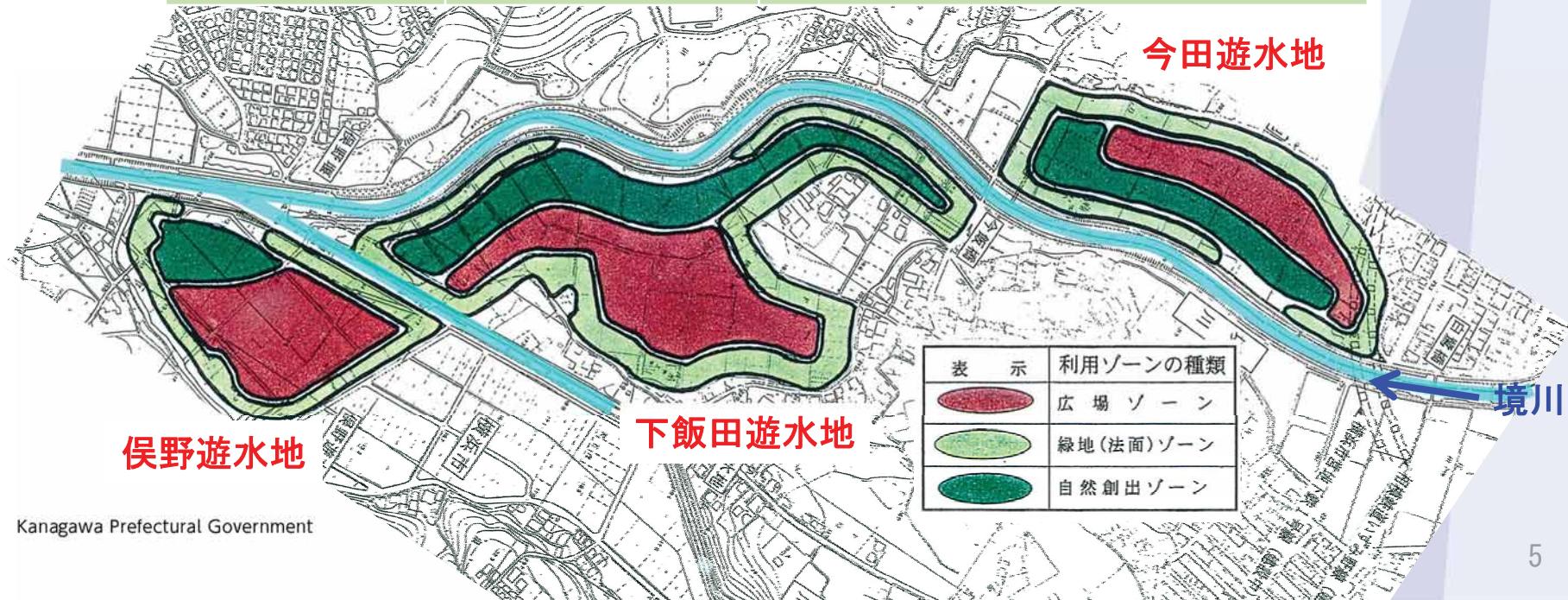
# 1. 境川遊水地の概要



## 2. 境川遊水地公園の概要

- 「境川遊水地多目的利用整備計画検討委員会(平成9年度)」を設け、「計画の実施に関する基本方針」をとりまとめ。
- 同方針において、上部空間を「整備ゾーン」と「自然利用ゾーン」の大きく2つに整理。

| 基本ゾーン   | 利用ゾーン     | 機能及び利用イメージ                     |
|---------|-----------|--------------------------------|
| 整備ゾーン   | 広場ゾーン     | 多様な運動やピクニック、休憩等ができる場として利用      |
|         | 緑地(法面)ゾーン | 自然とふれあう散歩道としての役割               |
| 自然利用ゾーン | 自然創出ゾーン   | 自然豊かな水辺空間を創出、環境学習の場ともなる自然環境の創出 |

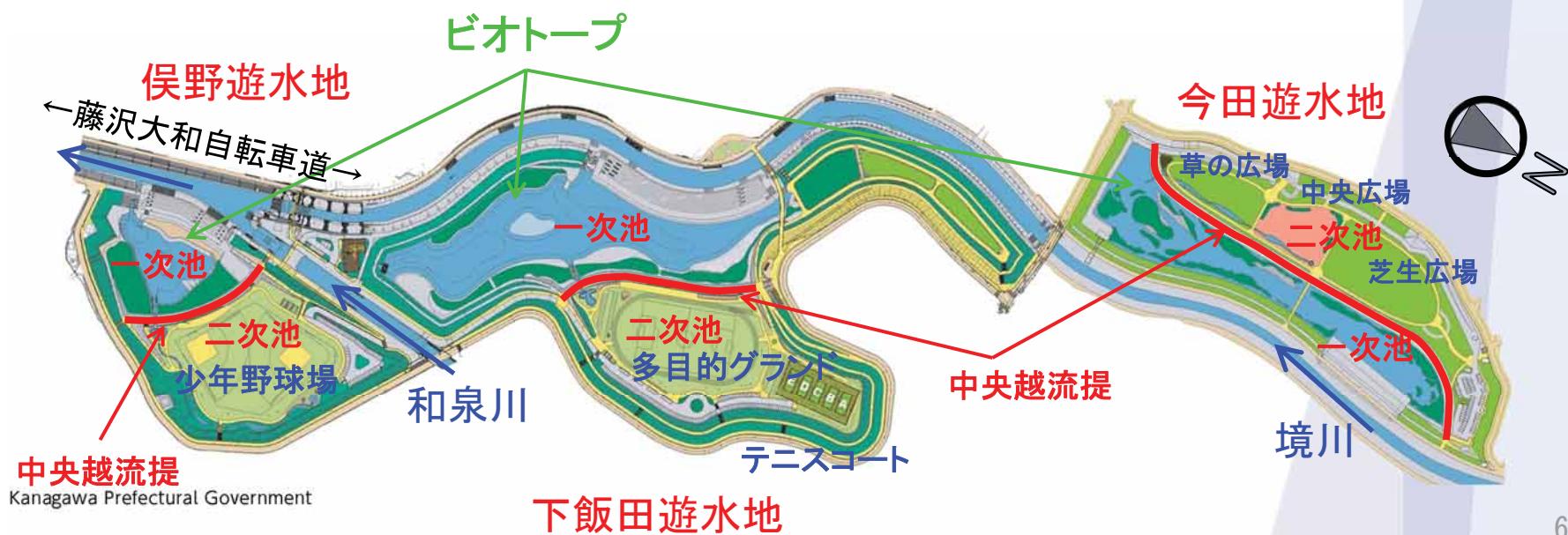


## 2. 境川遊水地公園の概要

- 平成15年度に県立公園としての整備方針を決定
- 中央越流提を設置し、「ビオトープなどの自然創出ゾーン(一次池)」と「多目的利用ができる広場ゾーン(二次池)」にエリアを分離

### 遊水地の上部利用

- |                          |                 |
|--------------------------|-----------------|
| 【一次池】 水辺のビオトープ<br>少年野球場  | → 環境学習の場を提供     |
| 【二次池】 多目的グラウンド<br>テニスコート | → レクリエーションの場を提供 |



Kanagawa Prefectural Government

## 2. 境川遊水地公園の概要

- 公園の来園者数は、年間約29万人(令和元年度)
- 野鳥の観察や撮影に多くの方が来園
- 二次池には、湧水を利用したせせらぎ水路を整備し、夏場は多くの子供達で賑わう

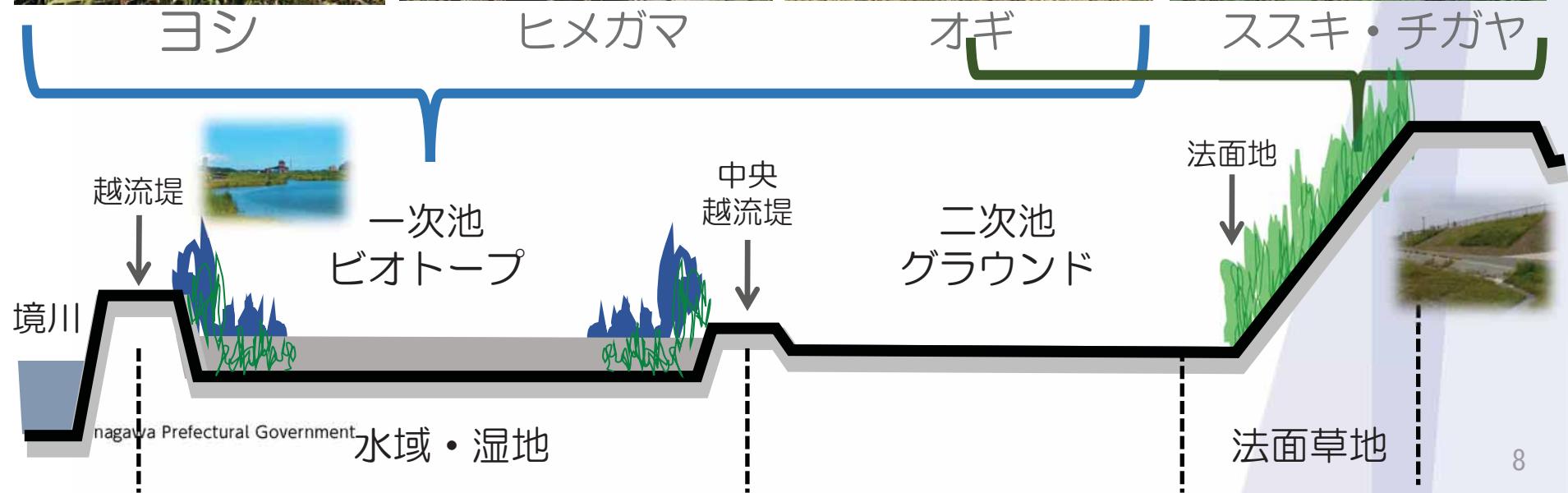


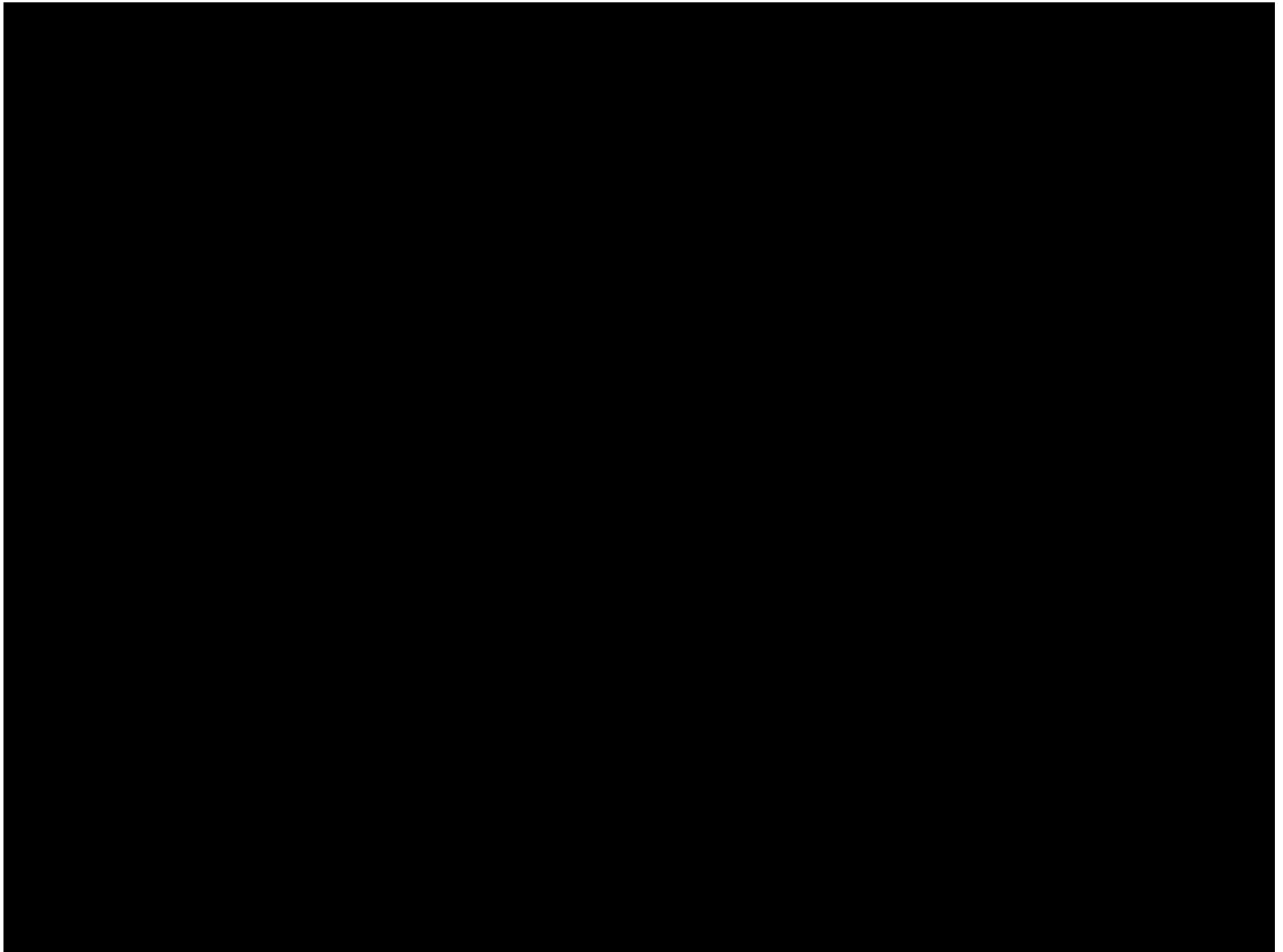
ビオトープの野鳥を観察・撮影する来園者



賑わうせせらぎ水路(二次池)

### 3. ビオトープに生息する動植物(植物編)





### 3. ビオトープに生息する動植物(水域の鳥たち)



カワセミ



バン・オオバン



カイツブリ



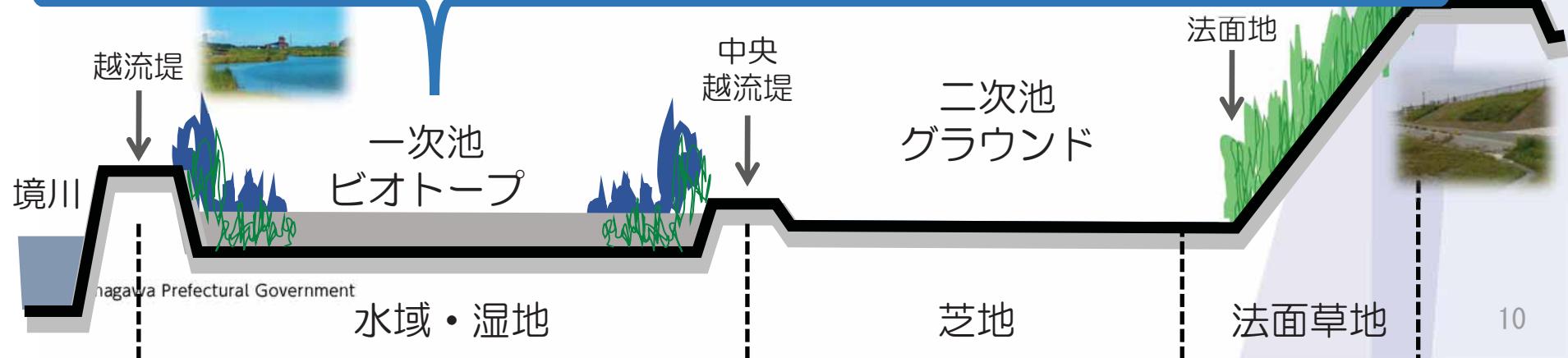
コガモ



ヨシゴイ



クイナ



### 3. ビオトープに生息する動植物(湿地の鳥たち)



オオジュリン



カワラヒワ



ホオジロ



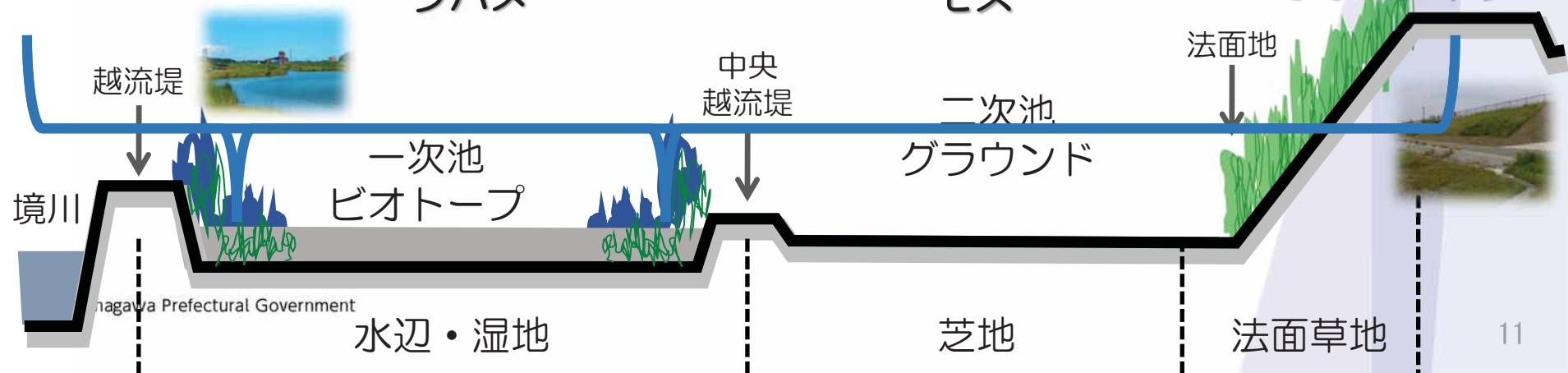
ツバメ



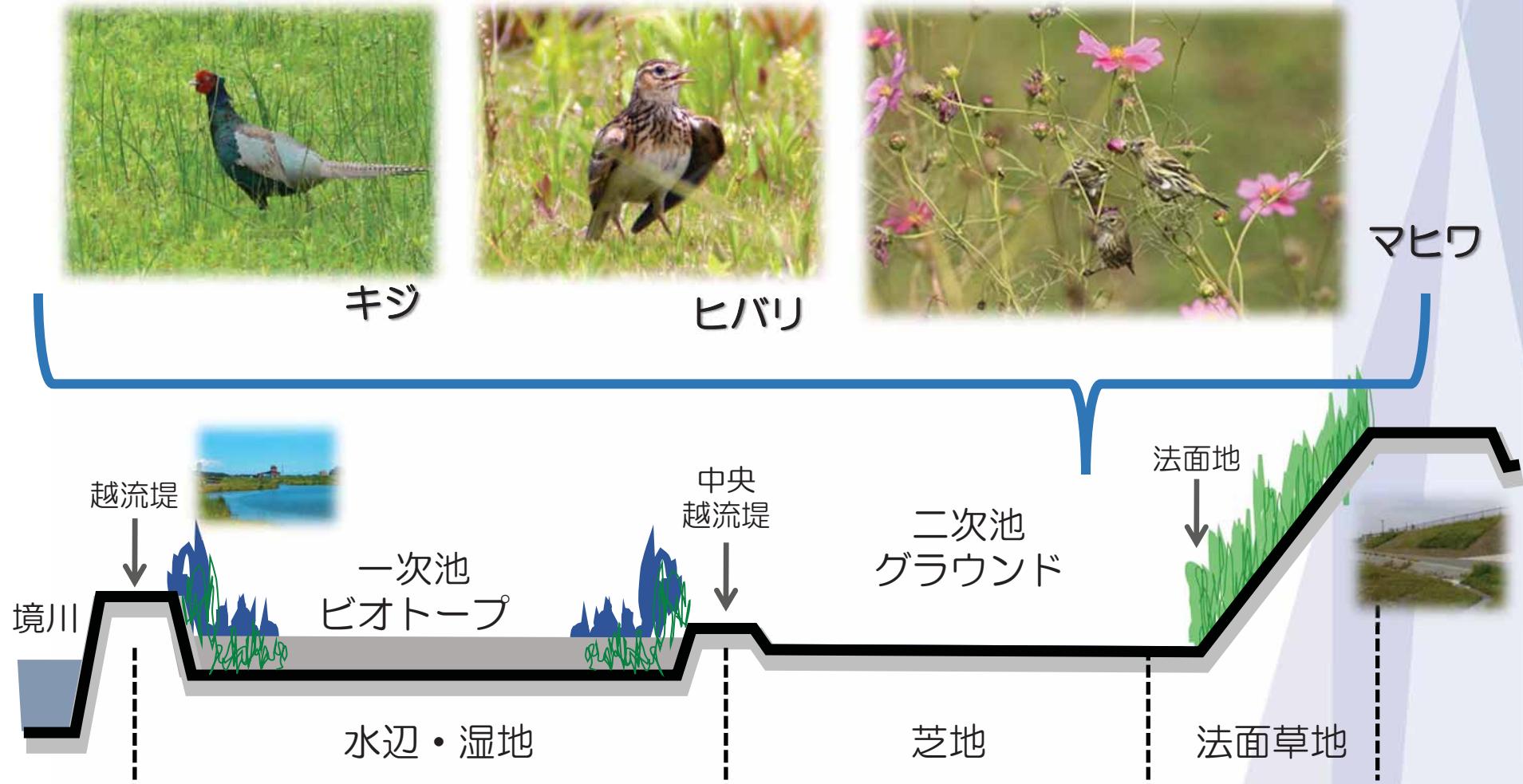
モズ



オオヨシキリ



### 3. ビオトープに生息する動植物(法面草地・低茎草地)



### 3. ビオトープに生息する動植物

| 対象   | 調査方法             | 科数       | 種数       |
|------|------------------|----------|----------|
| 植物   | フロラ調査            | 78(72)   | 502(319) |
| 鳥類   | ホイントセンサス・ルートセンサス | 33(30)   | 93(88)   |
| 水生生物 | 捕獲(手網・籠網等)       | 12(8)    | 25(18)   |
| 哺乳類  | 足跡調査・直接調査        | 5(4)     | 5(5)     |
| 爬虫類  | 直接調査             | 6(6)     | 8(8)     |
| 両生類  | 直接調査・捕獲          | 4(4)     | 6(6)     |
| 昆虫類  | 採集・直接観察          | 29(24)   | 101(70)  |
| 合計   |                  | 167(148) | 740(514) |

うち約3割  
が外来種

※ 平成24年度調査結果  
( ) 内は平成21年度調査結果

## 4. 自然環境の保全に関する取り組み

- ボランティア等との協働による管理  
(ヨシなどの刈取り、特定外来種の駆除など)
- 大学等との協働によるビオトープの適正な保全  
(生物モニタリング調査など)
- 環境学習フィールドとして利用促進  
(観察会実施、小学校等の自然環境学習受入れなど)



ヨシ・ガマの草刈り



カダヤシの駆除(特定外来生物) 生物モニタリング調査



## 4. 自然環境の保全に関する取り組み

- 草地に暮らす生き物(バッタ・コオロギ、キジなど)の環境に配慮  
(草刈り時期を、場所によって変えたり、部分的に刈り残すなど)



トノサマバッタ



キジ



ツチガエル



ツチイナゴ



エンマコオロギ



## 5. 今後の課題

- 植生遷移の進捗等による湿地の生態系等への影響
  - ・ヤナギの高木化(湿地の乾燥化の進行)
  - ・ヒシの繁茂(水域狭小化による水鳥の生息環境減少、水質悪化など)
- 池底の堆積物の増加による治水力への影響
  - ・洪水時の越流による堆積が進行
- 今後、自然環境調査を実施し、維持管理計画の見直す予定



浮遊植物ヒシの繁茂

ご清聴ありがとうございました



# 越流時の様子

## ● 俣野遊水地(少年野球場付近)



通常時



越流時

## ● 下飯田遊水地(テニスコート付近)

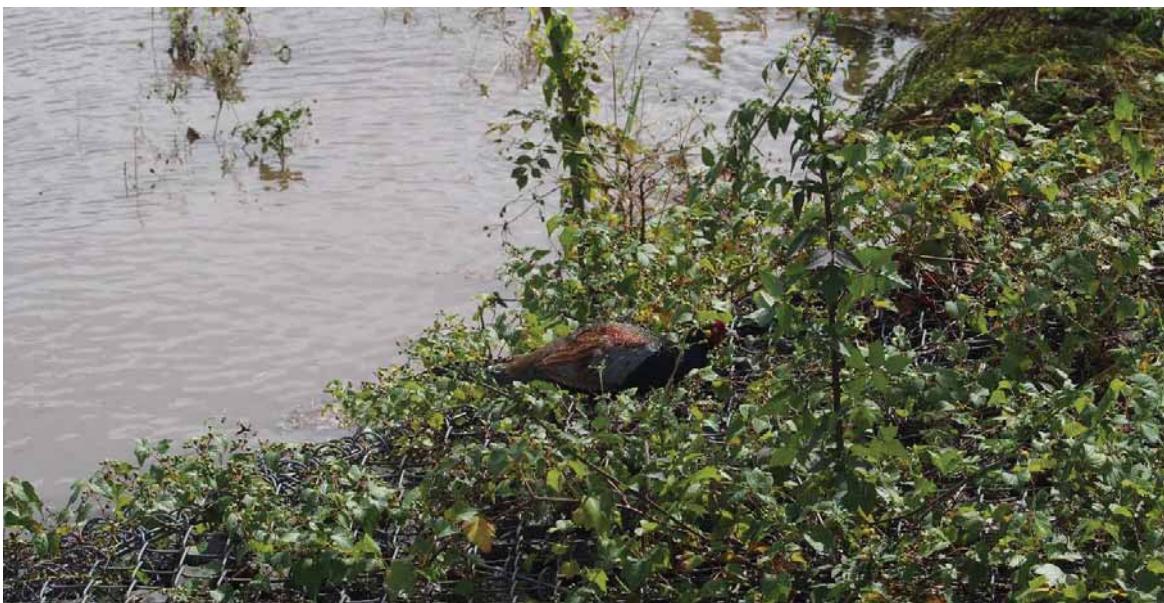


通常時



越流時

# 越流時の様子



越流復旧後に開花したコオニタビラコ  
春の七草の一つ（名：ホトケノザ）